

市の人口	(昭和58年9月1日現在)
世帯数	50,552世帯 (前月比81世帯増)
人口	159,962人 (前月比395人増)
男	79,746人
女	80,216人

宇治市政だより

9/21
昭和58年
(1983年)
第642号

発行 京都府宇治市
編集 広報課
〒611 京都府宇治市宇治尾33番地
電話 (0774)22-3141
●毎月1日・11日・21日発行

快適な環境づくりを 9月21日から清掃週間

今日のごみは明日の資源に

清潔で快適な生活環境づくりの柱といえる清掃事業は、市民の皆さんのご理解とご協力で改善、充実されてきています。省資源、省エネルギーが各家庭でも取り上げられていた今日、ごみも資源として見直されるようになりました。きょう9月21日から清掃週間がはじまりました。この機会に家族でごみについて話し合いませんか。



整とんされて出されたごみ…昨年は清掃車約2万1千台分収集。作業中の清掃車(広野町で)

市では現在、各家庭が日々排出される燃えるゴミは週一回燃やさないで月一回定期収集しています。また家庭の臨時ごみ臨時、飲食店などの小規模な事業所のごみもそれぞれ収集収集。このほか、犬猫などの死体(飼犬、飼猫)の持ち主は、町内へお持ち帰りしていただくようお願いします。

市では、市民のみなさんの協力を得て、ごみの不法投棄の監視を続けています。空き地や山間部などごみを不法投棄しやすい場所には、禁止を呼びかける看板を立て、パトロールを強化して、防止努めています。ごみを不法投棄している現場を見つけたらすぐに清掃事務所(☎3141)へ。緊急の場合は、警察の110番でも受け付けます。通報のこともお知らせください。

ご利用を
みそ掃除の容器
快適な街づくりに欠かせないのがごみ掃除です。現在、町内各家庭で実施していただいています。市では、みそ掃除専用用容器を投入される容器を貸し出しています。お申し込み、お問い合わせは清掃事務所(☎3141)へ。

秋の交通安全運動が始まる

九月二十一日から秋の交通安全運動が町内で一斉に行われます。今年の一月から七月まで市内で起きた交通事故は四百九十九件、昨年同時期に比べると五十四件の増となっています。

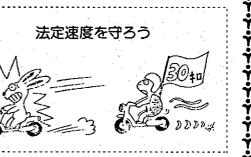
事故にも負傷者の多くは若年層の子どもですが、最近ミニバイクの女性も増えてきています。

五十八年一学期(二月から六月)の交通白書でも、宇治警察管内で発生した事故の約半数がミニバイクや自転車関係したものとなっています。

また若年層では、出会い頭、右左折時の横断が全体の六割、子どもでは

正しく乗ろうミニバイク

- ▲安全運転の確保、特安半減率の適用、ヘルメットの着用、歩行者も運転者も正しい交通ルールと交通マナーに
- ▲安全運転の確保、特安半減率の適用、ヘルメットの着用、歩行者も運転者も正しい交通ルールと交通マナーに
- ▲安全運転の確保、特安半減率の適用、ヘルメットの着用、歩行者も運転者も正しい交通ルールと交通マナーに



法定速度を守ろう

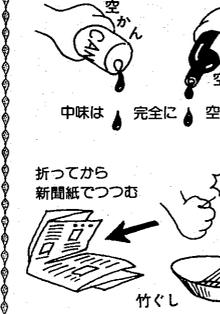
- ▲安全運転の確保、特安半減率の適用、ヘルメットの着用、歩行者も運転者も正しい交通ルールと交通マナーに
- ▲安全運転の確保、特安半減率の適用、ヘルメットの着用、歩行者も運転者も正しい交通ルールと交通マナーに
- ▲安全運転の確保、特安半減率の適用、ヘルメットの着用、歩行者も運転者も正しい交通ルールと交通マナーに



市民の協力を得て古紙回収(府営西大久保団地で)

古紙回収事業は、資源の有効利用を図るため、紙回収事業、不用品情報センターを推進しています。

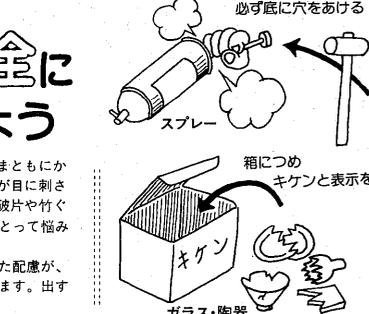
資源の有効利用を図るため、紙回収事業、不用品情報センターを推進しています。



ごみは安全に出しましょう

ごみ袋が破れてごみを頭からまともにかぶり角膜炎を起こしたり、鉄粉が目に入ったり、ごみ袋の中のガラスの破片や竹くしでの負傷は、作業をする者にとって極みの種です。

ごみを出すときのちょっとした配慮が、収集処理を安全でスムーズにします。出す前にもう一度見直しましょう。



必ず底に穴をあける
箱につめ
スプレー
ケケンと表示を
ガラス・陶器

